

授業改善プラン

地域名	東上総教育事務所	学校名	茂原市立茂原中学校
-----	----------	-----	-----------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

- 平成30年度調査では数学A、Bともに全国平均をやや下回る結果であった。
 - ・問題形式別に見ると「記述式」が全国平均を大きく下回り、無解答も多く見られた。
 - ・事象を解釈し、考えを筋道立てて説明したり数学的な表現を使って説明したりすることに課題が見られた。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 学習の内容や方法を振り返る場面を工夫すれば、課題解決の見通しをもって取り組んだり、学びを深めたりすることができるであろう。
- 対話の場面で学びの形態や方法を工夫すれば、数学的な思考力や表現力が高まり主体的な対話ができるであろう。

3. 具体的な実践

- 授業の中で問題解決の見通しをもたせる場面と時間を確保する。（ノートにつぶやき欄を作成）
【別添資料1】
- 学習問題の設定や解決の見通し、自力解決をする際に付箋紙に自分の考えを書くようにする。また、その付箋紙をグループ、ペアで持ち寄り、思考ツールを使いながらまとめ、思考の可視化と共有を図る。【別添資料2】
- 学習問題に対するまとめを自分の言葉で書くようにする。また、学習内容や方法の「振り返り」を行うことで、個々が前後の学習を踏まえた学習の再構成を図り学びを深められるようにする。
【別添資料3】
- 授業の前半部分で1つの課題を解決し、後半でそのことを既習内容として、主体的に新たな課題に取り組むように授業構成をする。【別添資料4・5（指導案）】

4. 成果

- 全国学力・学習状況調査の活用から
平成30年度と31年度の調査問題を利用し、正答率については6問中5問全国平均を上回り、無答率についても6問中4問で全国平均より低い結果となり改善が見られた。（第3学年9月実施）【別添資料6】
- 授業改善の視点から
付箋紙を使うことで自分の考えを表現しやすくなった。また、考えを書き出した付箋紙を思考ツールで可視化してまとめていくことで意見を比較・共有がしやすくなり、解決の見通しが立てやすくなっている。
「振り返り」については、学習し終えた内容を自分なりに整理したり、現在の学習と過去の学習と結びつけたりして、より深く考えるための一助となっている。

◆担当指導主事から（東上総教育事務所 指導主事 白土 俊幸）

- 茂原中学校は2年間の計画的な取組により授業改善を行っていた。特に今年度は、授業の目標に沿って視点を明確にした振り返りを実践することで、生徒自身が学習を自分の言葉で整理し、学びを深めることができた。